

選択英語B(1)		講義	講師 松本 秀樹	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目 柔道整復師コースの教養選択科目 救急救命士コースの教養選択科目	科目ナンバリング	11110202 12210202 13210202	

1. 授業のねらい・概要

選択英語A(1)を継続・発展させた内容とする。

英語の4技能を使ったコミュニケーションに習熟することによって、様々な背景をもつ人々とも自然と交流し意思疎通がはかれるようになることをねらいとする。情報について多角的に考えた上で、論理的に自分の意見を述べる方法が身に付くように具体的な場面を設定して学べるようにする。また、英語を学ぶことによって異文化を理解し自身の発想を広げて、多角的に物事を見て考える姿勢を身に付ける。

2. 授業の進め方

2コマで1ユニット進むこととする。ユニットの前半は、テーマに関する内容についてリスニングをしてウォーミングアップを行い、関連する語彙や表現を学ぶ。テーマについての会話を動画により学習し、リスニングやロールプレイ等を通してコミュニケーションに習熟しつつ文法事項を学習して英語運用能力を高める。ユニットの後半は、テーマに関してのリーディングやライティングを行い英語の実践的総合力を向上させるとともに、文化・習慣についての理解を深める機会を設定する。

3. 授業計画

1. Course orientation and overview	16. Unit 7 Describe people's appearances
2. Unit 1 Define smartphone features	17. Unit 7 Add information for emphasis
3. Unit 1 Compare different smartphone models	18. Unit 8 Identify different endangered animals
4. Unit 2 Identify famous dishes from other countries	19. Unit 8 Provide information about an endangered animal
5. Unit 2 Recommend and describe dishes	20. Unit 9 Identify different sections in a supermarket
6. Unit 3 Identify various musical instruments	21. Unit 9 Categorize food items by their collective noun
7. Unit 3 Write an album review	22. Unit 10 Describe the effects of natural disasters
8. Unit 4 Describe your favorite way to travel	23. Unit 10 Inform others about a city's extreme weather
9. Unit 4 Write a travel itinerary	24. Unit 11 Characterize different art forms
10. Unit 5 Categorize different sections in a store	25. Unit 11 Create your own art exhibition
11. Unit 5 Describe product features	26. Unit 12 Label different household devices
12. Unit 6 Define different landforms	27. Unit 12 Design a smart home
13. Unit 6 Present information about a natural wonder	28. Review II
14. Review I	29. Course Review
15. Mid-Term report	30. Course summary

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業前には該当箇所の予習をして、授業終了後は学習した内容を復習して習熟に努めること。これらの学修に1時間を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート・小テストについては採点の上返却する。また、提出物等は講評し改善のためのアドバイスをを行う。

6. 授業における学修の到達目標

1. 英語の基本的な技能に習熟することによって、英語による意思の疎通を図ることができる。
2. 異文化について学び理解することによって、日常生活での自身の発想を広げ多角的なものを見方を身に付けることができる。

7. 成績評価の方法・基準

試験とレポート（50%）、提出物・小テスト・授業の参加度・積極性（50%）を総合して評価する。

8. テキスト・参考文献

角山輝彦/Live ABC editors 著, 『Live Horizons Book2』成美堂（2026）

9. 受講上の留意事項

英語をわかりやすく基礎から段階を踏んで授業を行うので、英語に自信がなくても安心して受講してほしい。授業には辞書または電子辞書を持参すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。